

2004 MOTOCROSS RULES

付 **15** 則

全日本モトクロス大会特別規則

モ
ト
ク
ロ
ス

1 公 示

全日本モトクロス選手権はFIM国際スポーツ憲章に基づきMFJ国内競技規則、モトクロス競技細則及び全日本選手権シリーズを通じて共通した項目をまとめた本特別規則と、各大会の特別規則に基づき開催される。

2 競技会開催日程等

- 2-1 レースウィークの日程
月～木曜日：占有走行は禁止される。スポーツ走行は開催されてもよい。
金 曜 日：すべての練習走行は禁止される。
土～日曜日：競技会日
- 2-2 競技会の日程は巻末に示す（203頁参照）。

3 運営・実行組織

大会運営・実行組織は、公式プログラムまたは公式通知に示される。

4 開催部門・クラス

- 4-1 全日本選手権シリーズの開催部門、クラス区分は次のとおりとする。

部門	国際B級	国際A級	レディス
クラス	125cc・オープン	125cc・250cc	85cc

- 4-2 全日本選手権は原則としてレディス、国際B級、国際A級の3部門が開催されるが、その他2クラスまでのレース、およびエキジビション（ポイント対象外）レースを併催することができる。ただし併催レースは全日本選手権のクラスに影響しない範囲に限り認められる。

5 参加資格

- 5-1 参加者及びライダー
参加者及びライダーは、国内競技規則・第3章 [⑬競技参加者] (35頁) に合致していなければならない。
- 5-2 年齢制限
大会に出場できる最低年齢は、下記のとおりとする。
125：15歳　250：16歳

※いずれも大会予選日に誕生日を迎えていること。ただし'03年全日本選手権における実績を有する者は、MFJ中央スポーツ委員会にて審査される（MFJ事務局への手続きが必要）。

6 出場申し込み

- 6-1 競技会への出場申し込みは主催者が準備した用紙の記載事項のすべてを記入し、競技規則を厳守することを誓約しなくてはならない。（エントリー時点で当該ライセンスを取得していること）
※未成年者の参加承諾書（187頁15-4参照）
- 6-2 申込期間、申込先などの詳細は203頁参照
- 6-3 ピットクルーの登録
- 6-3-1 出場申込後に、ピットクルーの追加は一切できない。但し大会当日の出場受付時間内に、他のピットクルーライセンス所持者と変更することはできる。（変更手数料1名につき1000円が必要）。
- 6-3-2 1人のピットクルーを、複数のライダーに登録することはできない。
- 6-3-3 参加ライダー本人を自分のピットクルーとして登録することはできない。（但し、作業をすることはできる）
- 6-3-4 ピットクルーパス及びピットクルーライセンスの装着義務
ピット作業を行なうクルーは、各自が用意するバケースにピットクルーパス及びピットクルーライセンスを収納し、判別しやすいように左腰前部に装着しなければならない。

7 出場料およびMFJ共済会掛金

出場料およびMFJ共済会掛金は、以下のとおりである。

	総 額	内 訳	
		出場料	MFJ共済会掛金
1クラス	14,500円	12,500円	2,000円
2クラス(Wエントリー)	22,500円	20,500円	2,000円
レディース	8,000円	7,500円	500円

8 参加受理

付則14モトクロス競技規則 [⑩参加受理]（186頁）による。

9 競技内容

- 9-1 公式予選
国際A級はタイム測定方式にて行われ、国際B級／レディースはレース方式にて行われる。
- 9-1-1 レース方式の予選（国際B級・レディース）
- 9-1-1-1 予選レースの周回数・予選組数・振り分け、予選組ごとの決勝進出台数等の詳細は公式通知に示される。
- 9-1-1-2 決勝レースに出場する全てのライダーは必ず公式予選に参加し、出場資格を得なければならない（スターティンググリッドに着いた時点で予選出走と見なされる）。
- 9-1-1-3 複数の予選組の場合は、決勝グリッド数を予選組で割った数の各予選組上位者が決勝に進出の資格を得る。

- 9-1-2 タイム計測方式の予選（国際A級）
- 9-1-2-1 予選最大出走台数は原則として60台とする。（予選出走台数が決勝グリッド数を下回った場合もグリッドの優先順位を決定するための予選を行う）
※コース状況やその他の理由により、複数組で予選が行われる場合もある。
- 9-1-2-2 決勝レースに出場する全てのライダーは必ず公式予選に参加し、出場資格を得なければならない。（例外処置は審査委員会にて決定）
- 9-1-2-3 予選ではラップタイムが測定される。（小数点3桁以下は切り捨て）この測定でベストタイムが甚だしく劣る者は、例え定員以内であっても決勝レース出場資格が与えられない場合がある。
- 9-1-2-4 予選時間は20分間とする。
- 9-1-2-5 複数の予選組がある場合は、それぞれの予選組ごとのタイム順上位で決勝進出者を決定する。決勝グリッドは各組のトップタイムを比較し、その順番で振り分ける。
- 9-1-2-6 予選組数により端数が出る場合の優先順序は下記とする。
例：グリッド32台 予選3組
予選各組上位10名で30名が選出される。残り2名を予選組ごとの11位（3名）のなかから、各予選組のベストタイムと11位のタイムの差を比較し、最もタイム差の少ない順に2名を選出する。
- 9-1-2-7 コースコンディションやその他事情により、タイム計測予選の実施が困難な場合、レース方式の予選に変更される場合がある（レース形式となった場合は10分+1周）。
- 9-1-2-8 国際A級はシード制度が適用される。（197頁17-1参照）
- 9-1-3 予選組の振り分け
- 9-1-3-1 国際A級（タイムアタックが複数組となった場合）
・第1戦は抽選で予選組の振り分けを決定する。
・第2戦以降はエントリー締め切り時点の当該クラスの最新ランキング順で振り分けを決定する。その後ポイントを獲得していない者をゼッケン順に振り分ける（予選がレース方式となった場合、上記振り分け優先順でグリッドを定める）。
- 9-1-3-2 国際B級／レディス
・エントリー締め切り時点でのゼッケン順にて予選組が振り分けられる。欠場によって著しく出走台数に差が生じた場合は、各組優先順位下位の選手にて調整する場合がある。
・予選レースのグリッドは抽選による。
- 9-2 決勝レース時間または距離
レディス 10分+1周 1ヒート
国際B級125/OPEN 20分+1周各1ヒート
国際A級125/250 30分+1周各2ヒート
※2003年度国際A級250ccランキング1～15位までの選手は、国際A級125ccクラスへのダブルエントリーはできない。

10 賞および得点（ポイント）

- 10-1 賞の詳細は、公式通知に示される。
- 10-2 全日本選手権ランキングの得点
- 10-2-1 全日本選手権ポイント

順位	1位	2位	3位	4位	5位	6位	7位	8位	9位	10位	11位	12位	13位	14位	15位	16位	17位	18位	19位	20位
得点	25	22	20	18	16	15	14	13	12	11	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1

※予定出走台数が4台以下は不成立とする ※ポイントは完走者に対し与えられる（190頁28-4参照）

2004年全日本モトクロス選手権大会特別規則

- 10-2-2 日本グランプリ大会には、規定の得点に3点が加算される。
- 10-2-3 全日本選手権ランキングの順位は、上記によって与えられた得点のすべてが加算され、その得点合計によって決定される。
その詳細は、全日本選手権ランキング決定基準（49頁）に示される。
- 10--2-4 全日本選手権**国際B級及びレディスクラス**のランキング決定順位
全10戦中6戦の有効ポイント制とする。（全10戦開催のうち上位6戦の成績でランキングが決定される）
- 10-3 賞及び得点の制限
国内競技規則・第3章 [28公式得点]（40頁）による。

11 出場車両

- 11-1 車両は、付則14モトクロス競技規則 [5出場車両]（185頁）を遵守しなければならない。
- 11-2 全日本対象クラス（国際A級・国際B級）の4ストローク車両の音量について
全日本選手権に参加する4ストローク車両の音量は下記のとおりとする。
・FIM固定回転数で測定し98dB/A以下のこと（測定方法は、モトクロス基本仕様216頁音量規制参照）

予告

全日本選手権対象クラスの音量は、2006年より96dB/A以下とされる。

※全日本選手権対象クラス以外で併催されるクラスの音量は94dB/Aとする。

12 ゼッケンナンバー

- 12-1 国際A級及び国際B級ライダーには、年間指定ゼッケンナンバーが割り当てられる。
指定ゼッケンを与えられた選手については、ジャージ背中側に指定ゼッケンの印刷が義務付けられる。
- 12-1-1 国際A級
指定ゼッケンをすべて通し番号とし、優先順位については以下の通りとする。
- ① 2003年度国際A級250ccポイント獲得者
 - ② 2003年度国際A級125ccポイント獲得者
 - ③ 2003年度国際A級250ccポイント未獲得者（03番号の早い順）
 - ④ 2003年度国際A級125ccポイント未獲得者（03登録番号の早い順）
 - ⑤ 2003年度国際B級からの昇格者（最大12名のルーキーゼッケンが適用される）
 - ⑥ その他は、全日本選手権エントリー時に主催者によって決定される。
- ※前年度125ccクラスチャンピオンは、国際A級125ccクラスに出場する場合のみチャンピオンゼッケン“1”をつけて出走することができる。
- 12-1-2 国際B級・レディス
年間指定ゼッケン以外の選手は、各大会ごとに主催者によってゼッケン番号が与えられる。原則として、出場時に与えられたゼッケン番号は、シリーズゼッケン（当該年有効）とされる。
当該年度の全日本選手権シリーズに出場経験のある選手は、次大会出場時に主催者が判別しやすいよう、エントリー用紙に前回指定されたゼッケン番号を記載するものとする。
- 12-1-3 国際B級の年間指定ゼッケンナンバー決定基準は以下のとおりとする。
- 12-1-3-1 125/OPENクラスを比較し、順位が高いクラスをそのライダーの代表クラスとする。
- 12-1-3-2 代表クラスの順位を比較し、上位の者が優先される。

- 12-1-3-3 代表クラスが同順位の場合、そのクラスの上位入賞回数が多い者が優先される。
- 12-1-3-4 12-1-3-3で決定できない場合は、オープンクラスを優先する。
- 12-1-3-5 12-1-3-4まで決定できない場合は、中央スポーツ委員会にて最終決定する。
- 12-1-4 ルーキーゼッケン
国際B級から国際A級に昇格する上位の選手（最大12名）にはルーキーゼッケンが与えられる。ルーキーゼッケンは01～012まで与えられる場合がある。
- 12-2 上記12-1-1、12-1-2、12-1-3、12-1-4に記載されている以外のライダーには、大会毎に主催者によって各クラスゼッケンナンバーが割り当てられ、参加受理書に記入して通知される。
- 12-3 その他希望ゼッケンを要望する場合は、MFJ中央スポーツ委員会の許可が必要とされ、有料とする。（申請期日：前年の12月31日消印有効）

13 ガソリンおよびオイル

ガソリンは無鉛ガソリンに制限される。（AVガス、航空機用燃料等は使用できない）
モトクロス基本仕様4 燃料、燃料／オイルの混合液（209頁）参照

14 車両検査

- 14-1 付則14モトクロス競技規則 [⑩車両検査]（187頁）参照
- 14-2 車両検査持ち込み台数は、1クラスにつき国際B級部門は1台に限定し、国際A級部門については制限を設けない。ただし、車両検査を受けていない車両の使用は一切認められない。
- 14-3 マフラーのマーキングは、予選ならびに決勝のスタート前チェックにて行なう。予選終了後（決勝は出走車両）の音量検査は、ペイントされたマフラーのみを対象に行なわれる。
- 14-4 音量規制値は+2 dB/Aの場合、注意勧告とし、+3 dB/A以上の場合、失格とする。希望者は車検長に申し出ることにより予選以前でも音量測定を受けることができる。
※また音量測定は公式通知により示された場所及び時間内に必ず受けなければならない。音量測定を受けていない車両は出走することができない。

15 車両の変更

付則14モトクロス競技規則 [⑩車両の変更]（188頁）参照。

16 フリープラクティスおよび公式練習

- 16-1 競技会前日の練習走行は禁止される。
- 16-2 ライダーは、主催者が設けた公式練習に必ず参加しなければならない。

17 決勝レース出場資格

- 17-1 国際A級のシード制度
- 17-1-1 シード選手がシード権を行使する場合、必ず予選に出場していなければならない。
- 17-1-2 シード選手は予選の結果にかかわらず決勝への出場を保証される。
- 17-1-3 シード選手がシード権を行使した場合（予選不通過の場合）、当該選手は、予選通過者の後にグリッドを選択する。通常予選通過者の後に走る権利が認められ、グリッド優先

順位は当該大会のシードランキング順とする。またその場合グリッドの無いコースの場合は安全を考慮した2列目スタートまたはその他の方法でスタートされる。

- 17-1-4 シード選手を加えた上で、決勝進出者とグリッド優先順位を最終的に決定する。
- 17-1-5 シード選手の資格
- 17-1-5-1 第1戦は前年の全日本選手権ランキング上位10位
- 17-1-5-2 第2戦以降は前戦までの最新ランキング上位10位
- 17-2 国際A級リザーブライダー
各予選組の周回数が多く、トップタイムの早い組より、予選通過者を除いた中の最もタイムの速い者をリザーブライダーとし、各組1名ずつ最大2名とする。
- 17-3 国際B級の出場資格
- 17-3-1 公式予選通過者（予選通過人数は各大会による）
フルグリッドにならない場合は、各予選組の周回数の多い、トップタイムの早い順に1名ずつ交互に補充される。
- 17-3-2 リザーブライダー
公式予選にて決勝レース出場資格を得られなかったライダーのうち、上位2名はリザーブライダーの権利を得る。
※上位2名は各予選組の周回数の多い、トップタイムの早い順に交互に決定される。
リザーブライダーは、各決勝レース前のサイティングラップに必ず参加しなければならない。

18 スタート

- 18-1 スタートの方法は原則として、国際A級の予選（タイムアタック方式）を除く、各部門ともスターティングマシンを使ったエンジンランニングスタートとする。またスターティングマシンを使用しないエンジンランニングスタートの際は、必ずヘルメット上部に左手を当てて待機し、スタート合図によりスタートすることとする。
- 18-2 スタートの手順
- 18-2-1 予選スタートの手順（レース方式）
- 18-2-1-1 予選開始予定時刻の10分前までに、当該予選出場ライダーはプレパレーションエリアに集合すること。※予選開始予定時刻とは、プログラム及びタイムスケジュールに告知された時刻である。
- 18-2-1-2 レース開始時刻または参加者が揃った時点でウェイティングエリアより進行員の指示で第一ライダーがエンジン停止状態で押しながら、スターティングエリアへ移動する。最初のライダーが動いた時点より遅れて来たライダーは最後尾からのグリッド整列となる。（遅れたライダーの優先順位は来た順番となる）
- 18-2-1-3 スターティンググリッドに付いた時点で、当該ライダーおよび当該ピットクルーは道具を使用しないで地ならしができる。（コンクリートの場合は除く）
- 18-2-1-4 ライダーがスターティンググリッドに付いたことが確認された後、進行員の指示でエンジン始動の合図が出されプレパレーションエリアへのゲートは閉鎖される。この時ライダー、オフィシャル以外は速やかにスターティングエリアより退去しなければならない。※スターティンググリッド内で何らかのトラブルが発生した場合、当該ライダーのピットクルーは競技監督の許可を得て安全上スタートに支障のない場所で作業することができる。（スタートに支障のない場所は競技役員により指示される）
1分間のウォーミングアップ後、30秒ボードが30秒間提示される。

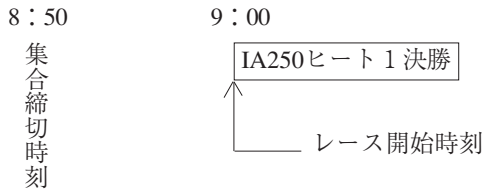
- 18-2-1-5 15秒ボードが、15秒間提示される。
- 18-2-1-6 5秒ボードが提示された後5～10秒以内にスタートとなる。
- 18-2-2 国際A級予選レースのスタート手順（タイムアタック方式）
- 18-2-2-1 プログラム及びタイムスケジュールに告知された予選開始時刻の10分前までに、当該予選出場ライダーはプレパレーションエリアに集合すること。
- 18-2-2-2 レース開始時刻または参加者が揃った時点で進行員の指示に従い、順番にコースインする。
- 18-2-2-3 20分間のタイム計測が行われる。
- 18-2-3 決勝スタート手順
- 18-2-3-1 レース開始予定時刻の10分前までに、リザーブライダーを含む決勝出場者全員は、プレパレーションエリアに集合することが望ましい。この時プレパレーションエリア内では予選順位または、決勝ラインナップ順位によりグリッド選択順に整列される。
※レース開始予定時刻とは、サイティングラップを含むプログラム及びタイムスケジュールに告知された時刻である。
- 18-2-3-2 レース開始時刻または参加者が揃った時点でウェイティングエリアより進行員の指示で第一ライダーがエンジン停止状態でスターティングエリアへ移動する。最初のライダーが動いた時点より遅れてきたライダーはリザーブライダーの前に最後尾より整列される。（遅れたライダーの優先順位は来た順となる。）また最終ライダー（リザーブライダーを含まない）が動いた時点でプレパレーションエリアへのゲートは閉鎖される。ゲート閉鎖に間に合わなかったライダーは、いかなる理由があろうとも決勝レースへ出場することは認められない。
- 18-2-3-3 ライダーがスターティンググリッドに着いた時点で当該ライダーおよび当該ピットクルーは道具を使用せずに地ならしができる。（コンクリートの場合は除く）
- 18-2-3-4 全ライダーがスターティンググリッドに付いたことが確認された後、進行員の指示でサイティングラップ（コース安全確認1周）が実施される。（リザーブライダーを含む）
- 18-2-3-5 サイティングラップ終了後、サイティングラップからスターティンググリッドに戻ってきていないライダーは、競技監督の判断により競技除外となり、リザーブライダーの決勝出場が認められる。
※サイティングラップ中におけるライダーへの援助は、オフィシャルの判断あるいはオフィシャルの認めた者だけが行うことができる。他の援助を受けたライダーは競技除外とされる。但し、サイティングラップ後（リザーブ確定後を含む）スターティンググリッド内で何らかのトラブルが発生した場合、当該ライダーのピットクルーは競技監督の許可を得て安全上スタートに支障のない場所で作業することができる。（スタートに支障のない場所は競技役員により指示される）
- 18-2-3-6 全ライダーがスターティンググリッドに着いたことが確認された後、エンジン始動とともに30秒ボードが30秒間提示される。
この時ライダー・オフィシャル以外は速やかにスターティングエリアより退去しなければならない。
- 18-2-3-7 15秒ボードが、15秒間提示される。

2004年全日本モトクロス選手権大会特別規則

18-2-3-8 5秒ボードが提示された後5～10秒以内にスタートとなる。

例) タイムスケジュール記載方法

IA250ヒート① レーススタート9:00の場合 (サイティングラップを含む)



18-2-4 スタートエリア規制について

18-2-4-1 スタートグリッド前 (コース側)

オフィシャル及びプレスを除くいかなる者もこのエリアに入ることは認められない。

18-2-4-2 スタートエリア内まで (スタートグリッドを含む)

ライダー、オフィシャル、ピットクルー (1ライダーにつき1名まで)、プレス、レーシングサービス、レース関係者 (キャンペーンガールを含む) 以外はこのエリアに入ることは認められない。

18-3 予選におけるスタート位置を選択する優先順位

18-3-1 国際A級 [付則15全日本モトクロス選手権大会特別規則⑨競技内容・9-1-3-1国際A級の予選組分けについて] (194頁) 参照。

18-3-2 国際B級スタートの位置は、抽選結果の順位による。

18-4 決勝レースのスタート位置を選択する優先順位

国際B級

スタート位置を選択する優先順位は、予選順位に基づき決定される。

国際A級

タイムアタック方式の場合は、両ヒート (第1、第2ヒート) とともに予選タイムの速い順に選択される。

レース方式の場合は、両ヒート (第1、第2ヒート) とともにそれぞれの予選組の周回数の多いトップタイムの早い組順に交互に選択される。同周回の場合はトップタイムの早い組から、交互に上位より順番に選択できる。

18-5 ウォーミングアップ

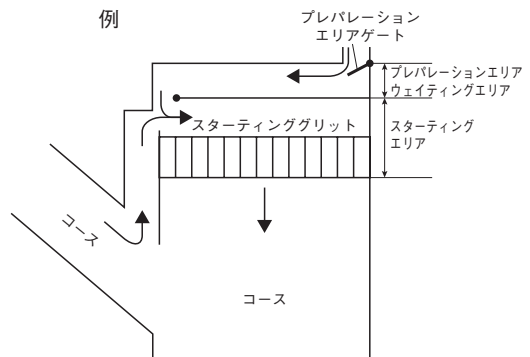
エンジンのウォーミングアップは主催者により指定された時間帯及び場所に限られる。

18-6 ウォーミングアップ以降、スタート係によってスタートのためのエンジン始動の合図がなされた後は (キックスタートの場合は、エンジン停止の合図がなされた後) ライダーからタイムのサインがあっても競技は続行される。

18-7 予選・決勝におけるスタート位置の選択

決められた優先順位に従い、グリッドを選択するために、プレパレーションエリアから移動することができる。

一度スタート位置を選択し、グリッドに着いたものはそのスタート位置を変更することはできない。



19 レース

- 19-1 レース中の遵守事項は、国内競技規則・第3章〔⑭競技参加者の遵守事項〕（35頁）による。
- 19-2 ピットエリア内で車両整備などに従事するメカニックの数は、2名以内とする。
- 19-3 レース中、サイレンサーまたはエキスパンションチャンバーが外れた場合、また破損した場合は、競技役員より当該ライダーに対して黒旗及びゼッケンを記したボードが提示される。提示されたライダーは速やかにピットインし、修理の後、当該競技役員の許可を得て、再出走が認められる。

20 レース後の車両検査

付則14モトクロス競技規則〔⑲レース後の車両検査〕（191頁）参照。

- 20-1 レース終了後、入賞車両は直ちに車検員によって決められた区域内に管理され、暫定結果発表後20分間保管され、必要に応じて検査される。
- 20-2 上記車両は、必要に応じて車両重量及び音量が測定され、規定を満たしていない車両の当該ライダーは失格となる。

21 総合順位の設定方法

- 21-1 レースが2ヒートに分かれて行われる場合の総合順位の設定は、以下に記すとおりとする。
- 21-1-1 1ヒート、2ヒートの合計得点が多い者。
- 21-1-2 上記21-1-1で決定できない場合は、2ヒート目の成績を優先する。

22 抗議

- 22-1 付則14モトクロス競技規則〔⑳抗議〕（191頁）および国内競技規則第3章〔㉑抗議〕（41頁）による。
- 22-2 抗議は、暫定結果発表後20分以内（全日本選手権以外では30分以内）に当該ライダー及びエントラント代表者だけが行うことができる。

23 本規則の解釈

本規則及び競技に関する疑義は、大会事務局あてに質疑申し立てできる。なお、この回答は大会審査委員会の決定を最終的なものとする。

24 本規則の施行

本規則は、各大会出場申し込み受付日より有効とする。なお、本規則に示されていない事項は、国内競技規則・付則14モトクロス競技規則による。

附則

国別対抗世界選手権 モトクロス・オブ・ネーションズの、日本代表選手選考規定は以下のとおりとする。

日本代表選手選考委員会を設置し、代表選手を選抜する。

1) 選考委員会

選考委員会のメンバーはモトクロス委員長・副委員長・選手会・プレス代表・有識者（オブザーバー）・MFJ事務局で構成する。

なお、選考委員の関係者が選考対象となった場合、当該委員の代理を選考委員会が選出する。

2) 選手選考について

全日本選手権の成績を参考にして海外で活躍中の選手も含めて選考する。又該当選手が負傷等の理由により出場が難しくなった場合補欠ライダーが出場する。

但し日程等の関係から車両の変更が出来ない場合は同系列メーカーの選手を選考する。

3) 団長・監督に選任について

①団長 MFJモトクロス委員会より選任される。

任務 日本チーム全体の総括。

②監督 選考した選手の属するチーム監督または選考委員会より選任される。

任務 出場決定後の選手及びチームのマネージメント。

4) トレーナー等の選任について

当該選手のチーム監督及びモトクロス・オブ・ネーションズ日本チーム監督の意見を参考に必要に応じて選任される場合がある。

5) 権限について

モトクロス・オブ・ネーションズチーム選抜に関する全ての権限はMFJモトクロス委員会及びモトクロス・オブ・ネーションズ選考委員会に委ねられる。

※なお、モトクロス・オブ・ネーションズ選考委員会は当該年度の第1回MFJモトクロス委員会前に組織され、MFJモトクロス委員会にて承認される。

選考委員会は第1回MFJモトクロス委員会承認後開催され、当該年の体制を決定する。

2004年 MFJ全日本モトクロス選手権シリーズ カレンダー

開催日	大会名	出場申込先	開催場所	出場申込期間	チャイルドクロス開催
4月10日(土) ∩ 4月11日(日)	MFJ全日本モトクロス選手権 シリーズ第1戦 近畿大会	MFJ近畿支部 〒550-0012 大阪府大阪市西区立売堀1-7-14 ☎06-6534-6422	奈良県 名阪スポーツランド	3月3日(火) ∩ 3月10日(木)	○
4月24日(土) ∩ 4月25日(日)	MFJ全日本モトクロス選手権 シリーズ第2戦 関東大会	MFJ関東支部 〒170-0005 東京都豊島区南大塚3-43-5 アルス新大塚202号 ☎03-3971-0222	茨城県 自動車安全運転センター	3月16日(火) ∩ 3月25日(木)	○
5月8日(土) ∩ 5月9日(日)	MFJ全日本モトクロス選手権 シリーズ第3戦 中国大会	MFJ中国支部 〒733-0031 広島県広島市西区観音新町1-18-9 広島県二輪車安全普及協会内 ☎082-295-6994	広島県 グリーンパーク弘楽園	3月30日(火) ∩ 4月8日(木)	○
5月22日(土) ∩ 5月23日(日)	MFJ全日本モトクロス選手権 シリーズ第4戦 九州大会	MFJ九州支部 〒812-0007 福岡県福岡市博多区東比恵3-11-9 メゾン水巻1F-B ☎092-473-2616	熊本県 HSR九州	4月13日(火) ∩ 4月22日(木)	○
6月5日(土) ∩ 6月6日(日)	MFJ全日本モトクロス選手権 シリーズ第5戦 SUGO大会	SUGOスポーツクラブMX係 〒989-1394 ☎0224-83-3127	宮城県 スポーツランドSUGO グランプリコース	4月27日(火) ∩ 5月6日(木)	○
7月3日(土) ∩ 7月4日(日)	MFJ全日本モトクロス選手権 シリーズ第6戦 北海道大会	MFJ北海道支部 〒001-0925 北海道札幌市北区新川五条20丁目1-20 新川地区工業団地内 ☎011-768-3988	北海道 わっさむサーキット	5月25日(火) ∩ 6月3日(木)	○
7月17日(土) ∩ 7月18日(日)	MFJ全日本モトクロス選手権 シリーズ第7戦 東北大会	藤沢町モータースポーツ協会 〒029-3405 岩手県東磐井郡藤沢町徳田字大望沢 37-10藤沢町B&G海洋センター内 ☎0191-63-3333	岩手県 藤沢スポーツランド	6月8日(火) ∩ 6月17日(木)	○
9月4日(土) ∩ 9月5日(日)	MFJ全日本モトクロス選手権 シリーズ第8戦 近畿大会	MFJ近畿支部 〒550-0012 大阪府大阪市西区立売堀1-7-14 ☎06-6534-6422	奈良県 名阪スポーツランド	7月27日(火) ∩ 8月5日(木)	○
10月9日(土) ∩ 10月10日(日)	MFJ全日本モトクロス選手権 シリーズ第9戦 中国大会	グリーンパーク弘楽園 〒733-0031 広島県世羅郡世羅町大字黒淵728 ☎0847-27-1755	広島県 グリーンパーク弘楽園	8月31日(火) ∩ 9月9日(木)	○
10月30日(土) ∩ 10月31日(日)	第42回日本グランプリモトクロス MFJ全日本モトクロス選手権 シリーズ第10戦	SUGOスポーツクラブMX係 〒989-1394 ☎0224-83-3127	宮城県 スポーツランドSUGO グランプリコース	9月21日(火) ∩ 9月30日(木)	○

※スポーツランドSUGOへの郵便物は、郵便番号と宛て名のみで届きます。

2004年 モトクロス主要競技会 カレンダー

開催日	大会名	出場申込先	開催場所
8月29日(日)	MFJオフロード全国大会	(財)日本モーターサイクルスポーツ協会 〒104-0045 東京都中央区築地2-11-24 第29興和ビル別館7F ☎03-5565-0900	宮城県・スポーツランドSUGO
10月2日(土) ∩ 10月3日(日)	2004モトクロス・オブ・ ネーションズ		オランダ